



もっと知ってほしい「ウイルス性肝炎」のこと

◆ウイルス性肝炎はこんな病気です

ウイルス性肝炎は、A、B、C、D、E型などの肝炎ウイルスの感染によって起こる肝臓の病気です。A型、E型肝炎ウイルスは主に食べ物を介して感染し、B型、C型、D型肝炎ウイルスは主に血液を介して感染します。

肝臓は沈黙の臓器と言われ、肝炎ウイルスに感染していても、熱や痛みなどの症状はほとんどありません。一部の方では、倦怠感、食欲不振、吐き気、黄疸（皮膚が黄色くなること）などの症状が出ることがありますが、知らない間に肝硬変や肝がんになっていることもあります。肝がんの原因の80%は肝炎ウイルスによるものとされています。

◆多くの“キャリア”が存在しています

キャリアとは、ウイルス保有者のことです。B・C型肝炎には多くのキャリアが存在します。日本におけるB型肝炎のキャリアは約99万人、C型肝炎のキャリアは約40万人と推定されています。ウイルスに感染しているかどうかは検査を受けないとわかりません。

◆まずは肝炎ウイルス検査からはじめましょう

肝炎ウイルスの検査は血液検査のみです。感染していても自覚症状がないことが多いため、気づかないまま過ごしている方もいます。少なくとも一生に一回は肝炎ウイルス検査を受けることが大切です。肝炎ウイルスに感染していることがわかったら、医療機関を受診して、肝臓の状態をチェックするための検査や指導を定期的に受けましょう。また、必要に応じて適切な治療を受けることをお勧めします。

◆肝炎の早期発見・早期治療のため、一生に一回は肝炎ウイルス検査を受けましょう

青森県では、以下の検査や医療費の助成を行っています。詳細については、青森県のホームページからご確認ください。

○無料肝炎ウイルス検査

指定する医療機関で無料のB型及びC型肝炎ウイルス検査を実施しています

○初回精密検査費用助成

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された後、県が指定した医療機関で初めて精密検査を受けた際の検査費の、自己負担分を助成しています

○定期検査費用助成

肝炎ウイルスの感染を原因とする慢性肝炎、肝硬変、肝がん患者の方を対象に定期検査費用の助成を行っています。



問合せ 深浦町役場 健康推進課 ☎0173-82-0288 fukaura-health01@town.fukaura.lg.jp

上手に貼れたかな？ 深中生ねぶた紙貼り体験

深浦中学校1年生19人が深浦ねぶたの紙貼り作業を体験しました。

深浦ねぶたは昨年度合併20周年事業として復活し、今年もねぶた祭実行委員会が制作しており、8月13日～15日で運行を予定しています。

生徒たちははじめに平成14年に行われた合同運行の映像を見ながら、歴史民俗資料館の伊東館長から深浦ねぶたの歴史について学びました。その後、深浦ねぶた祭実行委員会の木村大希さんから紙の貼り方について教わり、実行委員の指導を受けながら紙貼りに取り組みました。

6/23



紙貼りをしている生徒たち

3町連携、茜の道 白神連合

深浦町、鱒ヶ沢町・秋田県八峰町の3町による「広域的まちづくり推進に関する連携協力協定」が締結されました。

この協定は、世界自然遺産「白神山地」の悠久の時間が育んだブナの森と、雄大な日本海がもたらす海の恵み、JR五能線や国道101号といった共通の財産を守り、強化し、活用していくことを通して、地域の魅力向上と持続発展につなげたいとの思いを共有し、実践していくものです。平沢町長は「行政の積極的な交流や情報交換はもちろんのこと、商工会や観光協会をはじめとした民間事業者の協力が必要。3町がこれまで以上に連携協力し、地域活性化に力を入れていきたい」と述べました。

6/25



協定書を掲げる(左から)平沢町長、平田町長(鱒ヶ沢町)、堀内町長(八峰町)

水道・下水道施設について 学びました

深浦小学校4年生15人が北金ヶ沢第二浄水場と北金ヶ沢浄化センターの施設見学に訪れました。

北金ヶ沢第二浄水場では、町職員から普段使う水道水がどのように作られているのかを学びました。まず、小童子川の取水口を見学。次に着水井と呼ばれる小童子川から取った水を貯める場所を見た後、沈砂池という水に含まれている大きなゴミや砂を沈める場所を見学しました。その後、水は浄水場に入り、きれいにするための薬品が点滴され、ろ過機や活性炭吸着塔でろ過され、ようやく浄水（飲み水）となります。児童たちは、水が作られる過程がたくさんあることや、大きな機械や水槽に興味津々で、職員にたくさん質問を投げかけていました。

北金ヶ沢浄化センターでは、家庭から排水された水はどのように処理されているのかを学びました。家庭で排水された水は、地下深くに埋設されている下水道管を通り、浄化センターで微生物の働きによってきれいな水に処理されます。管の長さが合計で約12キロもあることに児童らは驚くとともに、職員からもらったテキストを元に施設について理解を深めていました。

蛇口をひねると水が出る、流すと処理されるという「当たり前前の生活」を支える重要な施設を体験した児童たち。これからも水を大切にしていきたいです。

6/26



浄水場の説明を受ける児童たち



浄化センターの説明を受ける児童たち

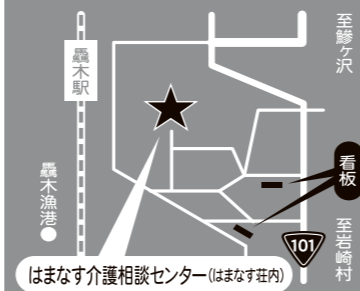
居宅介護支援事業所 介護でお困りの方、ご相談下さい！

はまなす介護相談センター

深浦町は今
高齢化率50%超!!
(もはやみんなの課題)

働きながら
子育てしながらの
介護って??

様々な介護の
悩みに
本気で向き合おう!



まずはお電話を TEL0173-82-0515 西津軽郡深浦町大字轟木津山118-44 http://www.hamanasuso.com

社会福祉法人 西寿会 はまなす荘